

早稲田大学 文化構想学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数4題、小問数41問で昨年度より2問減少した。記述問題が15問、選択問題26問(内訳は正誤17問・語句選択6問・語句組み合わせ2問・年代配列1問)。2つ選ぶ形式が5問あった。出題内容は例年同様、全問テーマ史。今年度はⅠ城郭、Ⅱ文化と政治、Ⅲ都市、Ⅳ貿易であった。時代別では前近代29問、近現代12問で比率はほぼ例年通り。分野別では政治15問・外交6問・社会経済12問・文化8問で、政治・社会経済史に比重がかかる。難易度は標準。8割ほどが基本問題である。試験時間60分は余裕をもってじっくり問題に取り組める。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅰ〕	古代～近代における城郭の歴史	問1:解答は「姫路〔白鷺〕」。問2:正解はウ。大野城は665年、新羅統一は676年。問3:正解はイ。広嗣の乱は鎮圧された。問4:正解はア。イ・ウ胆沢城を築いたのは坂上田村麻呂、エ陸奥国府は胆沢城に移されていない、オ多賀城のこと。問5:正解はオ。オは院政期の作品。問6:解答は「一乗谷」。問7:正解はエ。秀吉ではなく家康。問8:正解はウ。問9:解答は「五稜郭」。問10:正解はイ。	標準
〔Ⅱ〕	原始～戦後の文化と政治	問1:解答は「盟神探湯」。問2:正解はエ。ア・イ五衛府が宮中を警護、ウ僧侶は治部省、オ大納言は左右大臣の下。問3:正解はオ。問4:正解はイ。X『梁塵秘抄』は今様を集めた、Z文章と絵を用いる。問5:正解はウ・オ。ウ五山版は禅の経典や漢詩文集、オ黄檗宗は幕府に許容された。問6:正解はオ。ア・エの事実はない、イ寛永令において、ウ殉死の禁止が定められたのは4代家綱の時。問7:解答は「蛮書和解御用」。問8:正解はア・エ。イキリスト教は厳禁、ウ煉瓦造建物、オ教部省ではなく文部省。問9:解答は「美濃部達吉」。問10:正解はエ。消費税導入は1989年。	標準
〔Ⅲ〕	中世～近代の都市の歴史	問1:解答は「見世棚」。問2:正解はウ・オ。ウ会合衆は堺、オ武野紹鷗は堺。問3:正解はオ。ア明暦の大火、イ遠山景元は天保の改革前後の町奉行、ウ定火消は明暦の大火の翌年に創設、エ町火消は町奉行が監督。問4:解答は「小石川養生所」。問5:正解はウ。ア享保の飢饉は享保の改革の最中、イ富士山ではなく浅間山、エ大塩の乱は天保の改革前、オ「飢饉が加わって」「都市では」を誤りと判断し(「都市」は農村が正しい)誤文とした。やや難。なおウは正しく、『詳説日本史B』(山川出版社)p.224に説明がある。問6:正解はオ。七分金積立は運用された。問7:解答は「人返し」。問8:解答は「日本之下層社会」。問9:正解はア・ウ。ア家屋倒壊ではなく火災中心、ウ虎の門事件段階では戒厳令は解除されている。やや難。問10:正解はイ。ア第二次世界大戦ではなく第一次世界大戦、ウ開戦当初ではなくサイパン島陥落以降、エ空襲は全国の中小都市に及んだ、オ小学生ではなく国民学校生。やや難。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅳ〕	古代～戦後の貿易の歴史	問1：正解はイ。問2：解答は「大輪田泊」。問3：解答は「夢窓疎石」。問4：正解はア・エ。問5：解答は「糸割符制度」。問6：正解はイ・オ。問7：正解はウ。問8：解答は「富岡製糸場」。問9：解答は「船成金」。問10：正解はウ。YはGATTの説明、Zは世界銀行（国際復興開発銀行）の説明になっている。問11：正解はエ。い-1979年、ろ-1973年、は-スミソニアン協定で1971年、に-プラザ合意で1985年。	標準

〔総合コメント〕

<p>全体的に標準レベルなので教科書学習の徹底で8割ほどの得点が可能である。記述問題において難しい漢字を要求される時がある。「百姓申状」「吉良義央」(2018年度)、「一揆契状」「在郷町」「日本資本主義論争」(2016年度)、「勸進」「碧玉」(2015年度)、「式内社」(2014年度)、「人力車」「総力戦」(2013年度)、「小泉八雲」(2012年度)、「俳風柳多留」「男女共同参画社会基本法」(2011年度)、「凡下」(2010年度)など。また2016年度は平仮名で「おふみ」と書かせ、2019年度は「鋳物師」の読み(「いもじ」)、2015年度は「蝦夷」の読み(「えみし」)が出題された。最後に、本学部は良問が多く、努力の量に点数が比例する。地道に学習した者が高得点を獲得できる入試である。</p>
